多治見まつり会場 1億円の重さ体験

十六銀と東濃信金出店

多治見市内で開かれた多治見まつりの会場で、十六銀行と東濃信用金庫が初めて合同出店し、1億円の重さを体験するコーナーが家族連れでにぎわった。

十六銀行と東濃信用金庫は2016年に「東濃地域での地方創生にかかる包括連携協定」を締結した。この協定に基づき、来年度から「とーのー地域応援プロジェクト」の名称で合同の物産展などを東濃地域で計画しており、広報のためにブースを出した。

同市音羽町の虎渓用水広場では連携協定の紹介のほか、子ども向けの金融クイズなどを出題した。実際の1億円と同じ大きさ、重さの模型を実際に持ってもらうコーナーも登場した。持ち上げてみた子どもたちが「重たい」と感想を話し、笑顔を見せた。

（稲木悠司）



十六銀行と東濃信用金庫の合同出店で、1億円の重さを体験する子ども＝多治見市音羽町、虎渓用水広場

無断複製・転載を禁じます